

Section S=1:20

透明な水脈

■Concept



<雨を保水する事で現れる建築>

大雨に対する土地の保水力の低下は災害を増加させる一因となっている。

そこで透明な水脈をつくる。

それは、まるでここに降る雨だけスローモーションになったかのような風景を生み出す。

雨を避けるのではなく、雨を感じとり緩やかに土地に還元する建築を提案する。

■Form Image

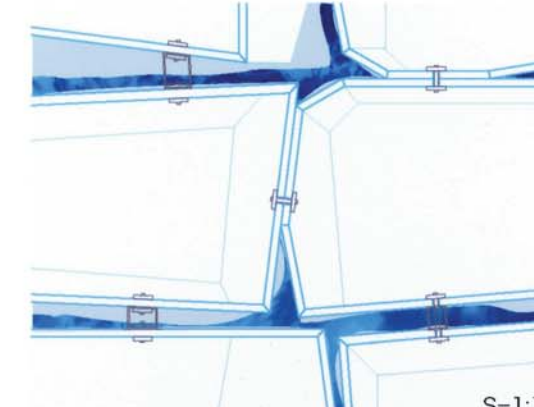


<氷のような集合>

溶けていく氷と氷の間に曖昧な隙間が生まれる。

氷が透明な事で隙間に水の流れるミクロな世界を感じとることができる。

■Detail



<曖昧な硝子の多面体>

不定形の硝子の多面体は隙間をつくりながら接続されて行く。

組み立てられた透明な水脈は雨、風、光等の自然条件を豊かに反映していく。

S=1:10